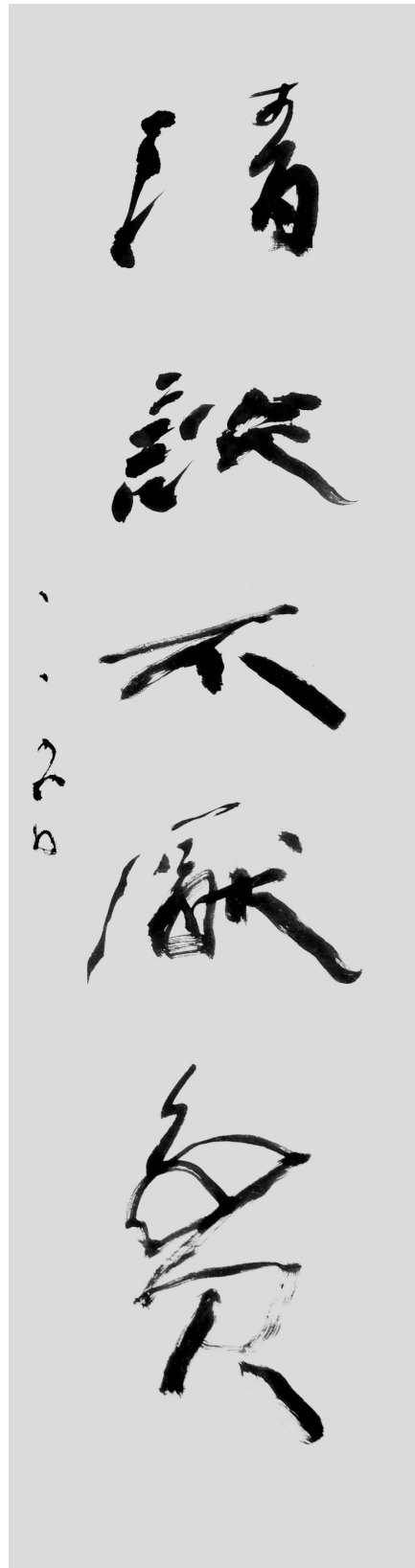


4月25日正午必着

明石春浦先生書



清談不厭貧（温庭筠） 一點の俗塵も入るを許さない。

雨宮春聲先生書



梨花酒熟江城晚、杏子衫輕水寺深（厲鶚）

江のほとりの城下町に梨の花が咲き、酒宴の好季節である。水辺の寺に杏の実がなつて、夏の着物が軽やかである。

明石幸子書



積雨山途善乍晴、煖雲浮動水花明 (王守仁)

山道をゆくうちに降りつつく雨がたちまち晴れ、暖かい雲気がたちのぼって水辺の花が美しく目にうつる。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

鳥聲春 (庾 信)

鳥声の春

風あたたかく鳥聲のどかなること。

春來天上渾無跡  
月到花間似有痕

(王 禕)

春來りて天上渾て跡無く、  
月は花間に到りて痕有るに似たり。

春夜花を見ての感である。

送董卿赴台州 (張 蠙)

董卿が台州に赴くを送る 張 蠙

九陌除書出 尋僧問海城  
家從中路擊 吏隔數州迎  
夜蚌侵燈影 春禽雜櫓聲  
開圖知異迹 思想石橋行

九陌に 除書出で 僧を尋ねて 海城を問う  
家は 中路從り 撃げ 吏は數州を隔てて迎う  
夜蚌 灯影を侵し 春禽 櫓聲に雜わる  
図を開きて 異迹を知り 思想す 石橋の行

悉ひふしてわれとも知らぬ 手枕に夢の胡蝶とちる櫻かな

(香川 景樹)

半紙部規定課題A

4月25日正午必着

更 朽  
慚 篋  
衰

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

4月25日正午必着

行書



隸書



明石春浦先生書

草書



行草書



建礼門のほとり、さわやかな秋の夜 承明廬に夜明けを待ちつつ過す  
 九重の門の奥にひやかな漏刻の音も尽き 市街の処々より、曉の鐘があまた鳴り響く  
 月の光ははるかに、真珠のような星をおおいかくし 雲は消え去って、天の川があらわれる  
 いまさらながら慚ずかしく思う、この老い衰えた身を以て 南の街路に、貴方と玉飾りを鳴らしつつ駒を並べて行くのが

與崔員外秋直

王維

建禮 高秋夜  
 承明 候曉過  
 九門 寒漏徹  
 萬井 曙鐘多  
 月迴 藏珠斗  
 雲銷 出絳河  
 更慚 衰朽質  
 南陌 共鳴珂

崔員外と秋に直す

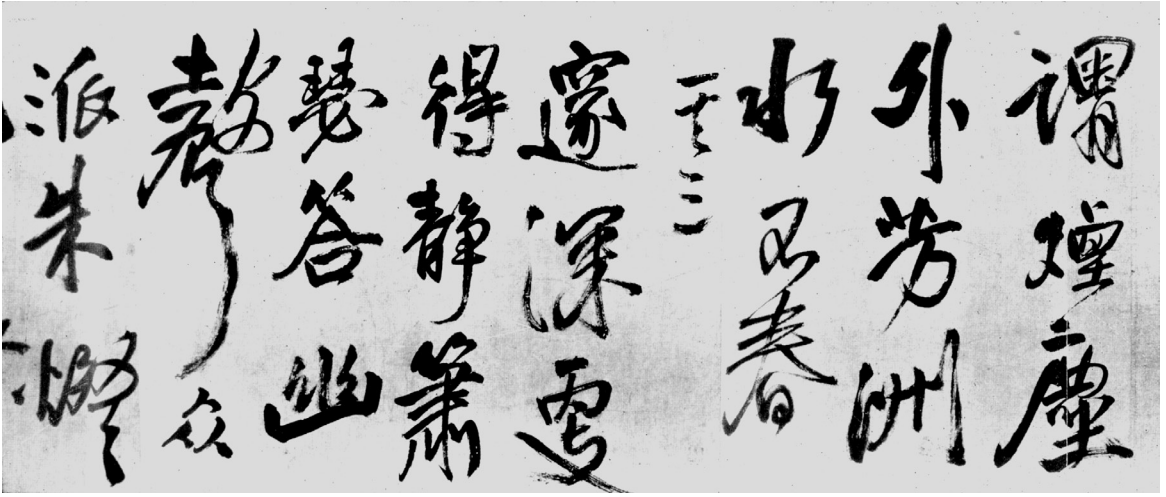
王維

建礼 高秋の夜  
 承明に 曉を候ちて過ぐ  
 九門 寒漏徹し  
 萬井 曙鐘多し  
 月迴かにして 珠斗を蔵し  
 雲銷えて 絳河出す  
 更に慚ず 衰朽の質の  
 南陌に 共に珂を鳴らすことを

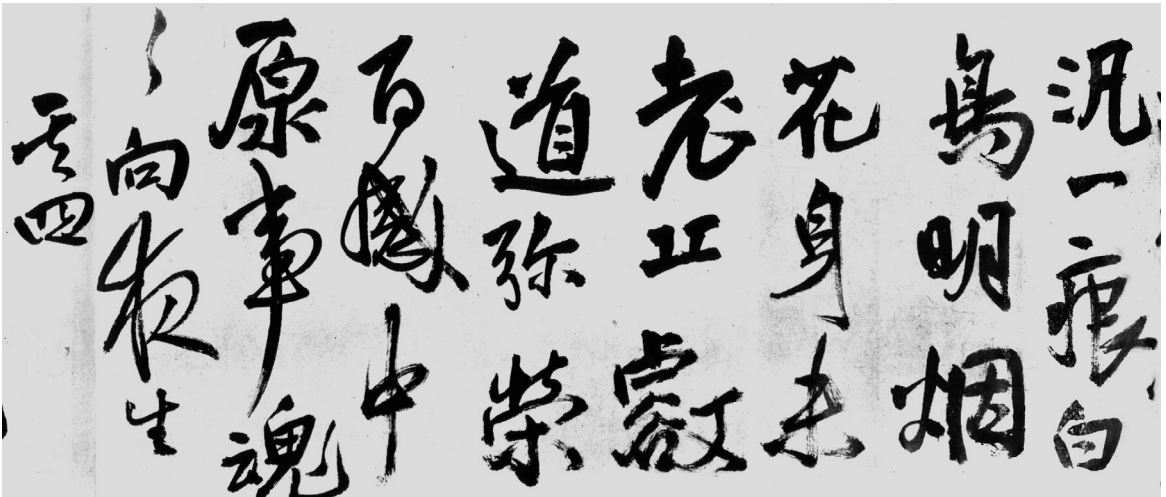
(出典)

朝日新聞社刊  
 「三体詩」下より

條幅部半紙部臨書課題



謂煙塵外。芳洲  
水不<sub>レ</sub>春。  
其 三  
遠深更得<sub>レ</sub>靜。  
蕭瑟谷<sub>レ</sub>幽聲。  
衆派朱燈



汎。一痕白鳥。  
烟花身未<sub>レ</sub>老。  
丘竈道彌榮。百  
感中原事。魂魂  
向<sub>レ</sub>夜生。  
其 四



邃深更得静。箫瑟答。幽聲。衆派朱燈汎。一痕白鳥明。烟花身未老。丘壑



箫瑟答。幽聲。

明末清初 王鐸・行書詩卷

王鐸は明の萬曆二〇年（一五九二）河南省孟津に生まれる。明朝末期の天啓二年（一六二二）に進士となり、明が滅亡した後は清朝に仕え、「明史」編纂の副總裁などをつとめた。順治九年（一六五二）礼部尚書となつたが、その年の三月病のために郷里で没した。字は覺斯（または覺之とも書いた）。号は高樵、癡庵、五岳道人など数多い。明朝の遺臣でありながら清朝に降つたことによつて節義に欠ける者として白眼視されたが、彼のような唯美の世界に耽溺した人間としては、そうしたことにこだわらず自由な行動をとつたのではないかとされている。

明末から清初にかけては政治的にも社会的または民族的にも混沌とした時代で、書壇においても革新的な傾向におもむきつつある時期であつた。そして、そうした中から董其昌や王鐸らの中核として伝統的な書道からはなれ、新しい理念に基づく書の美しさを求めようとする風潮が生まれた。

王鐸は詩文書画をよくしたが、なかでも書は特に名高く、二王を中心に晋唐の古法帖の臨書に終生心血を注ぎながら、彼独自の自由闊達な連綿行草の世界を作りあげていった。この行書詩卷は所々に草書も混じているが、あくまでも逞しい骨格に、鋒先の先まで力がこもり、少しいよどみもない奔放な運筆は見事というほかはない。（春濤）



雨宮春聲先生書

む

げん

中学一年



菅井松雲先生書

けん

ほう

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



むぎ  
麦

ばたけ  
畑

小学五年

榎戸春龍先生書



よう  
陽

き  
気

小学六年

藤井良泰先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



4月25日正午必着



ちか  
近

い

小学三年

藤田幸春先生書



はな  
花

み  
見

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

こ い 小学一年・幼年



森戸春濤書

ガ ム 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

百メートルを全速  
力で走りぬける

小学五年

池に小石を投げたら  
波もんが広がった

小学六年

人間の眼は失敗のとき  
初めて開くものである

中学

美しさを競うかのよ  
うに咲き乱れる春の花

一般(級位)

春先を おほふ薄雲 ほのかにも光をふくむ 朝より夕に (窪田空穂)

朝より夕に  
薄雲は  
朝より夕に

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

か	つ
も	く
め	し
め	し
だ	か
か	

幼 年

す	ね
ず	こ
め	が
が	
	一
ニ	び
わ	き

小学一年

小	川
ざ	で
か	つ
な	れ
だ	た
っ	の
た	は

小学二年

入	そ
り	の
き	先
ん	は
し	
で	立
す	ち

小学三年

る	山
け	の
し	上
き	か
は	ら
美	な
し	が
い	め

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

山ぶきのたちよそひたるやましみづくみにゆかめど  
 支曾多万三美可免三地能奈  
 三  
 地  
 山  
 ぶ  
 き  
 の  
 た  
 ち  
 よ  
 そ  
 ひ  
 た  
 る  
 や  
 ま  
 し  
 み  
 む  
 づ  
 く  
 み  
 に  
 ゆ  
 か  
 め  
 ど  
 三  
 地  
 能  
 奈



山ぶきのたちよそひたるやましみづくみにゆかめど  
 支曾多万三美可免三地能奈  
 (万葉集・高市皇子)

岩本景楓先生書